

JICA
海外協力隊



JICA
海外協力隊
発足60周年

～世界と日本を変える力～



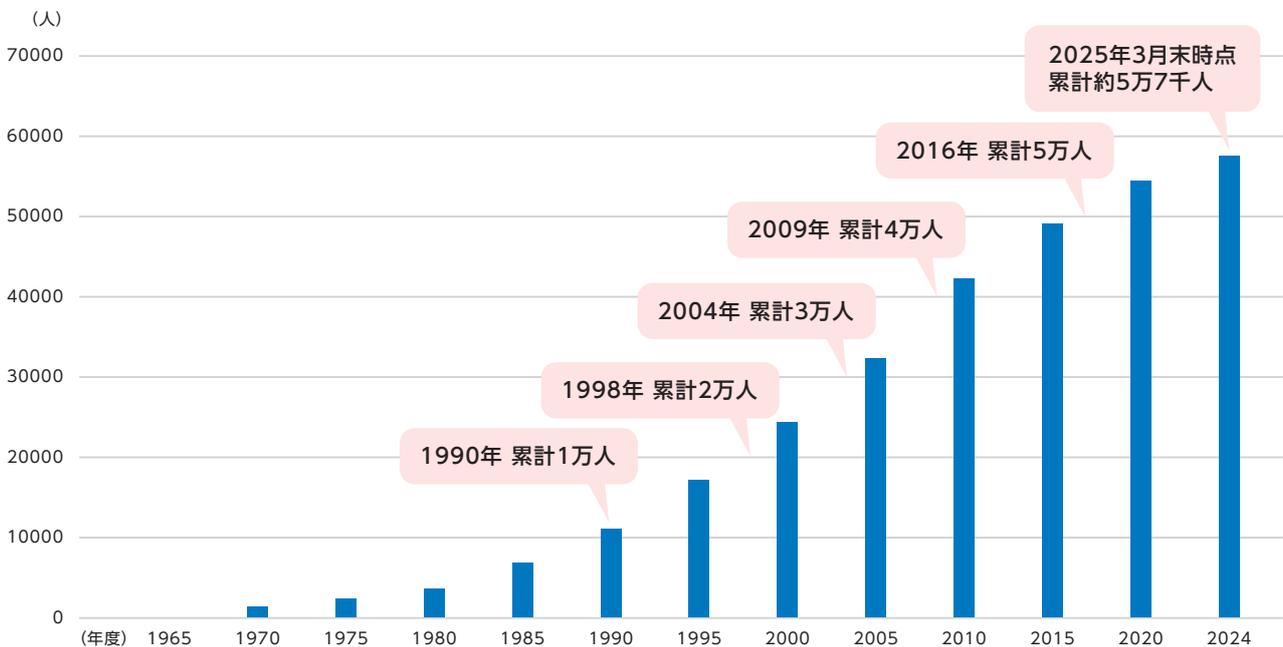
JICA 海外協力隊の概要

JICA海外協力隊は、国際協力の志を持った方々を開発途上国に青年海外協力隊等として派遣し、現地の人々とともに生活し、異なる文化・習慣に溶け込みながら、草の根レベルで途上国が抱える課題の解決に貢献する事業です。開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣します。以下3つの目的のもと、これまで世界99か国に5万7千人以上の隊員を幅広い分野に派遣してきました。

- 1 開発途上国の経済・社会の発展、復興への寄与
- 2 異文化社会における相互理解の深化と共生
- 3 ボランティア経験の社会還元



累計派遣者数（総計）



派遣中隊員の活動事例



ケニア / 病院運営管理 (2024年1月～2026年1月)

マチャコス郡の大規模病院に派遣されている隊員は、院内の各部署に見られる作業動線などを観察し、病院スタッフの作業効率向上を目的とした改善提案・作業を行っている。具体的な改善として、受付の混雑を解消するためにポールを設置、これに係員が誘導することを定着させ、受付を待つ患者の混沌とした混雑状況を解消した。同隊員は病院の経営層とも意見交換を行い、院内部署ごとの改善のみならず、院内の改善に必用な物資調達手順の円滑化等に係る提案も行っている。



カンボジア / 品質管理・生産性向上 (2024年5月～2026年5月)

カンボジア国立技能専門学校土木工学部に隊員を派遣。品質管理・生産性向上隊員として、国内最大規模の大学院が併設される技能専門大学に所属し、教員及び学生に対し5S（「整理・整頓・清掃・清潔・しつけ」）・カイゼン活動について指導。学部のみならず学校全体に定着させる活動を行っている。また、学部内の組織づくり、マニュアル（安全等）の整備にも取り組む計画がある。

60周年記念事業の紹介

JICA海外協力隊は、1965年に、ラオス、カンボジア、マレーシア、フィリピン、ケニアの5か国に計29名が最初の隊員として派遣されてから2025年で60周年を迎えました。JICAは、JICA海外協力隊発足60周年を記念し、記念式典、初代派遣5か国を含む海外でのイベント、大阪・関西万博やTICAD9との連携を含む国内各地でのイベント等の開催に加えて、支援組織との協働事業や関連広報についても実施する予定です。



【記念事業テーマ】『世界と日本を変える力』

【英語】The Power of JICA Volunteers -Change the World, Change Japan-

JICA海外協力隊における日本社会への環流をより平易な形で表現し、世界の様々な課題に取り組むと共に協力隊が日本社会にも変革をもたらす様をイメージしました。

【記念ロゴ】



作品名

『日本と開発途上国をむすぶ架け橋』

開発途上国発展のためのJICA海外協力隊の多種多様性を虹色の架け橋として表現し、日本と途上国との協力関係を表現されています。

ロゴの制作者は山根文子さんです。



山根文子さん

2016年にアルゼンチン、2019年にザンビア、2020年にマーシャルにて、それぞれデザインの職種で短期隊員として活動。

【関連サイト】

60周年記念動画

短編▶



長編▶



60周年特設サイト



JICA海外協力隊のあゆみ

1960年代	1965年 ●日本青年海外協力隊 :現青年海外協力隊事務局開設(市ヶ谷) 初の協力隊員派遣(ラオス)
	1966年 ●アフリカに協力隊員派遣開始(ケニア)
	1968年 ●広尾に協力隊事務局移転 ●広尾訓練所開設 ●中米に協力隊員派遣開始(エルサルバドル)
1970年代	1972年 ●大洋州に協力隊員派遣開始(西サモア)
	1974年 ●特殊法人国際協力事業団(JICA)設立 ●日本青年海外協力隊を 「青年海外協力隊」と改称
	1978年 ●南米に協力隊員派遣開始(パラグアイ)
	1979年 ●駒ヶ根訓練所開設(長野県)
1980年代	1985年 ●青年海外協力隊発足20周年記念式典開催 ●海外開発青年 (日系社会青年ボランティアの前身)事業開始
1990年代	1990年 ●青年海外協力隊の累計派遣人数が1万人突破 ●シニア協力専門家事業開始 ●移住シニア専門家事業開始
	1992年 ●東欧に協力隊員派遣開始(ハンガリー)
	1994年 ●二本松訓練所開設(福島県)

1990年代	1995年 ●青年海外協力隊発足30周年記念式典開催
	1996年 ●シニア協力専門家を 「シニア海外ボランティア」と改称 海外開発青年を「日系社会青年ボランティア」、 移住シニア専門家を 「日系社会シニア・ボランティア」と改称
2000年代	2000年 ●青年海外協力隊の累計派遣人数が2万人突破
	2003年 ●独立行政法人国際協力機構(JICA)発足
	2005年 ●青年海外協力隊発足40周年記念式典開催
	2007年 ●青年海外協力隊の累計派遣人数が3万人突破
2010年代	2008年 ●国際協力銀行(JBIC)の海外経済協力業務と 外務省実施の無償資金協力がJICAと統合
	2010年 ●累計派遣人数が4万人突破
	2015年 ●青年海外協力隊発足50周年記念式典開催
	2016年 ●青年海外協力隊が「ラモン・マグサイサイ賞」を受賞
2020年代	2017年 ●累計派遣人数が5万人突破
	2018年 ●制度変更し、総称を「JICA海外協力隊」に改める
2020年代	2020年 ●新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、 全隊員が日本に一時帰国 ●11月に4名の隊員が 退避後初めて再赴任(ベトナム)
	2024年 ●1,568人の隊員が各国で活躍中(10月末時点)

■ 帰国隊員の社会還元支援

グローバルプログラム

日本でも世界でも活躍する人材育成

- ・日本国内の課題解決に取り組む意思のある派遣前の合格者に、地方創生や多文化共生の現場にOJTとして活動する機会を提供。
- ・課題対応力をつけるとともに地域との深い繋がりを形成、帰国後に国内地域の課題解決に貢献できる人材を育成し環流を促進。

【プログラム期間】2.5カ月 【実績】276名、14都道府県24地域（2025年3月時点）



起業支援事業 BLUE

起業による社会還元を支援

JICA海外協力隊で得た経験を活かし、帰国後、起業による国内外の社会課題への取組を支援。起業ノウハウに関連するセミナーや伴走プログラムを実施。

主な
取り組み

- メンターによる起業伴走プログラム
- 起業に役立つオンラインセミナー
- オフライン交流イベント
- LinkedIn上のオンラインコミュニティ



社会還元表彰

国内外で社会課題解決に取り組む帰国隊員の取り組みを表彰

帰国隊員の社会還元事例を収集し、好事例として紹介することで、帰国隊員の社会還元の機運を高めるとともに、帰国後のキャリアやロールモデルを見える化するため、2023年から自薦・他薦で取り組みを募集し表彰を実施。



■ JICA 海外協力隊応援基金

開発途上国で活動する隊員や帰国後に国内外で社会課題解決に取り組む帰国隊員の支援など、皆さまからいただいたご寄付をJICAボランティア事業の発展に役立させていただきます。

詳しい情報はここから



独立行政法人
国際協力機構



JICA海外協力隊に関する情報を発信中



▲公式 Instagram
@jica_kyoryokutai

さらに詳しい情報はWEBサイトへ



▲JICA海外協力隊WEBサイト

JICA海外協力隊 🔍